

らよいと思ふ。

## 二、宿題を課するに就いての注意

### イ、反覆練習に價值ある問題を課するがよい。

算術科に於て反覆練習の必要な事は屢々説いた處である併も此反覆練習は中々時間を要する爲に怠り勝になるものであるから此一部を家庭に於てなさしむるのである先きに教材の輕重の項に記載して置いた模式問題を少量宛家庭に於てやらせるがよい模式問題は最も困難なるものは取らない數も少くしてあるから此等を宿題として毎日少し宛の時間を以て最もよく反覆練習の目的を達する事が出来る故に自分は此模式問題を宿題として用ひて居る。

### ロ、自習的習慣の養成となる様課するがよい。

教材過多であるから課するとか教授時間の補足の爲に課するといふ様に其宿題の分量が時によりて異なる様に課するは宜しくないと思ふ毎日少量宛持續的に課するのであるかくすれば毎日多くの時間を要せず併も持續的で

ある自習の習慣を養成するこれは訓練上尙他に種々なる價值のあるものであるから叙上の注意を以て宿題を課したいと思ふ。

### ハ、實地問題構成の幾部分を宿題としたい。

實地問題を構成せしむるは算術教授上必要の事であるが之を家庭に於てなさしむるは學校に於てなさしむるより効果は大なるものである之れが爲には兒童は既習の問題は必ず自發的に調べて見て自然復習をする日用品の價に就いても常に注意して之を調べる算術問題の構成資料の穿鑿をするといふ風に算術科の智識が擴まるものであるから之を家庭に於てなさしむる方が大いに効果ある事と思ふ。

二、長期休暇中の利用 長期の休暇は大いに利用するがよいと思ふ兒童をして一日の全体家事の手傳をなさしむるといふ如きは殆んどない事である長期休暇中には充分の宿題を課してもよいと思ふが併し其發題に對する注意は前述の通りの心得を以て毎日同一分量を課しつゝ兒童をして勉學心の杜絶を防ぎ自習の習慣を養成するやう適當に考慮したなら長期の休暇は甚だ

有効に利用の出来るものである。

本、宿題は結果の處理に充分の注意を要する。

これ丈は家でやつてこい此問題は宿題として置くといふ様に宿題として出して而も其結果は何等の處置もせぬといふ事は往々見る所であるがやうなる宿題の與へ方は効果がないのみならず大なる弊害のあるものである宿題を課したら其結果の處理は最も丁寧親切に指導してやらなければならぬ故に豫じめ宿題を課する際に其處理の方法をも考へ其結果が一目明かになるやう指導してやる等結果の處理を考へて宿題を課せなければならぬかくすれば兒童は宿題に大なる興味を有するに至り進んで宿題をなして來る様になるものである自分は家庭練習帳なるものを定め置き家庭に於てなしたる仕事は皆此練習帳に記さしめ其仕事の徑路が何時にても分る様にしてあるが相當効果を擧げて居る。

### 第十節 成績考査

一、成績考査の必要 今日普通行はれて居る成績考査は多くは兒童の能力を試

験するためのみ行はれ居る様であるが算術科の成績考査はしかく小なる目的の爲にのみ行ふべきものでないと思ふ算術科の成績を向上せしむる爲に屢々考査を行はねばならぬ次の事項を見附けるのである。

イ、教授は那邊まで徹底して居るか。

ロ、説明は如何なる点が不備であつたか。

ハ、兒童各個人に就いての欠陥。

ニ、反覆練習の効果は如何。

以上の事項は成績考査によりて見出し得らるゝのである而して以上の事項を参考とし次に來るべき教授の方法を工夫し説明の方法個別指導反覆練習方法等を案出するのである成績考査をかく大なる目的を標的として實行したならば其價値は甚だ大なるものであつて算術科成績向上の爲に大なる効果を奏するものである。

### 二、成績考査の時期及方法。

イ、一題目の教授を終りたる後に考査す例へば第三學年二十二頁筆算の減法

其二に就いて云へば二十二頁二十三頁を教授し終りたらば引き得ぬ桁一つある場合の教授に就いての考查を試むるがよい問題は代表的のものにて併も比較的困難なるものを選びがよい即ち引き得ぬ桁が末尾にあるもの中間にあるもの二桁のもの三桁のもの四桁のもの名数の取扱ひ等以上各代表的の問題一つ宛を選びて考查するのである其考查の結果を審査して次に進むべきか或は尙一回練習せしむべきかを定むるのである其標準は全校兒童の得点平均が七点内外を標準としたらよいと思ふもし得点が夫れ以下ならば確に教授上に欠陥があるのであるから其点を發見して更に教授の徹底を計るがよい。

考查の方法としては兒童の練習帳に就いて直に採用したらよい故に常に練習帳を正確に使用せしめねばならぬ事は前に述べた通りである練習帳を正確に使用せしむる訓練が充分に出来て居つたならば舉手によりて容易に採点し得るのである而して出来ざる兒童に就いて其欠陥を見附けるので餘り多くの時間は要せぬのである。

□、一切りの教授を終りたる時に考查す。例を三年にとつて見ると例へば筆算の減法其一其二其三其四を終りて一切り減法の教授を終つた時に考查するのであるこゝにても其結果を嚴密に調査して更に次に進むべきか或は今一回反覆練習をなすべきかを定むるのである其問題の撰出にも特に注意して各教授事項を代表すべき問題を選びはねばならぬ前に教材の輕重の項に於て述べて置いた模式問題を其儘採用して尙之れに類似の問題一題宛を加ふるか模式問題中の數を多少變更して課したらよいと思ふ採点の便利上より考へて五問題とか十問題とか限定するは宜しくない教授したる事項の代表的問題を選ぶといふ方針なれば數は限定さるべきものではない考查の方法としては筆算が最もよい算式が出来たか答が出来たかと只簡單に採点審査するのでは効果が無い詳細に亘りて審査すべきであるから必ず筆算によらしむるがよいと思ふ。

ハ、學期末の考查學年末の考查 各學期を終りたる後其學期中の教授事項に付て考查するは所謂教授の收穫を多くするのであつて効果がある教授者と

しては甚だ愉快なる仕事である學期末考査は普通行はれる様であるが學年末の考査は往々行はれぬのを見受ける之は甚だ宜敷ない事で算術科の如き反覆練習循環的練習によつて初めて成績の向上をなし得べき學科の如きは是非其學年全体に亘りて考査を行はなければならぬ問題の撰定法考査の方法等は前述の通り考へて宜しいと思ふ。

### 三、採点の方法。

算術科の採点は多く苛酷に失す 算術科の成績が不良であるといふ事は事實であらうが併し其採点の苛酷であるといふ事が一層其成績を不良に見せしむるのではあるまいか算術科の採点法は甚だ苛酷である只算式と答に付て多く採点されて居る例へば次の如きものゝ多くは採用されて居ない様である。

$$\begin{array}{r} 千三百六十七 \\ 647 \\ 366 \\ 543 \\ +36 \\ 13 \end{array}$$

である本問題の要求する所は何であるか即ち筆算として記載の形式は記載の形式と位取とは出来て居る運算も略出来て居る位取も出来て居る只

四、採点の標準。

檢算に於て甚だ粗末の取扱をなした事が明かである要求の八分通りは出来て居るのである然るに之を零とするは甚だ苛酷であると思ふ尙之を零として取扱ふ採点は甚だ樂であるが併し成績考査の目的を達する事は出来ぬ以上の兒童に就いて之を見るに只檢算に付て注意を與ふれば此兒童は完全に出来るのである之を零として放任して置たならば此子供は長く檢算を粗末に取扱ふ欠点は矯正されない遂に算術科の不成績所謂劣等兒となり終るであらう實に此採点法によりて算術の成績不良なりと叫ぶは誣ふるも亦甚だしいものと思ふ

以上述べたる所によつて算術科成績考査の採点法に就いては大いに研究の餘地があるであらう採点の標準に就いては大に研究せねばならぬ事と思ふ成績考査をなすに當りて先づ採点の標準を定めなければならぬ即ち先づ問題の要求を定めねばならぬ例へば前述筆算加法に就いて云ふて見れば記載の形式概算運算檢答位取答と五つに分て採点したらよいと思ふ即ち前例に就て云へば記載の形式は出来て居る概算もよろしい運算も略出来るのである一丈の相違

は檢算によつて發見すべきであるのに之を欠いて居るのは檢算をやらなんだのである位取も出來て居り答も出來て居ると見てやる事が出來るとすれば八分の点は與ふべきである。

以上の如くに採点の標準を定めて嚴確に審査を加へたなら算術科の成績も現今世の中に唱へられて居る程悪いものではあるまいしかもかく採点する時は兒童の欠陥を見附け得る尙共通の欠陥よりして教授の欠陥をも發見する事が出來て充分成績考査の價値を發揮する事が出來るのである。

## 第五章 教具ト施設

算術科に教具の必要な事は前すでに述べた所であるが一般の狀況を見るに低學年に於ける數概念の成立に關する教具は相當に研究されて居る様であるが高學年に於ける教具に至りては其研究も甚だ不完全であつて従つて其設備に於ても施設に於ても不十分のものが多い様である之れ現今算術科の成績の不良なる大なる原因となつて居るやうである故に算術の成績向上を計らんには教具に就いて充分の研究をして完全に設備し又施設しなければならぬのである殊に少し研究すれば算術科の教具は教師の手により作製し得べきものが多いのである而して實際教授に當りては教師の作製したものがより多く効果あるを認め得らるのである今左に順を追うて教具と施設とに就いて述べて見やうと思ふ。

### 第一節 數圖に付て

一、數圖の價値 數圖に就ては大に研究され論争されて居るのであるが結局其要点は二つに歸着するのであらうと思ふ一は數圖は數概念を構成する上に於

て必要欠くべからざるものなりとの意見と他は數圖は算術教授上不必要のものである否寧ろ弊害があると云ふのである。

數概念を得しめんためには數ふると共に明瞭なる數の直觀を必要とするのである故に自分は數概念成立のためには數圖により明瞭なる數象を得しむる事は大に必要の事であると思ふ勿論直觀主義者の主張する如く大きな數迄數圖によりて直觀せしめやうとするのは數概念の成立上効果はないものと思ふ即ち數概念成立の要素は十進系統の知識が主要なものであることは勿論であるから自分は其數範圍を十以下に止めたいと思ふ十以下の明瞭なる數概念さへ得れば十進系統の知識により其他の數概念は得らるゝものであると信するものであるしかも之れをも長く用ひしむるは宜しくないと思ふ十以下の數概念を了得せしめ十以下の計算の基本定理を知らしめ得れば數圖の使用は之れを廢せねばならぬと思ふのである。

二、數圖作製上の要件。

イ、數圖は幾何形体的に排列せられ數象を與ふるに最も便利たる形たること

を要す。

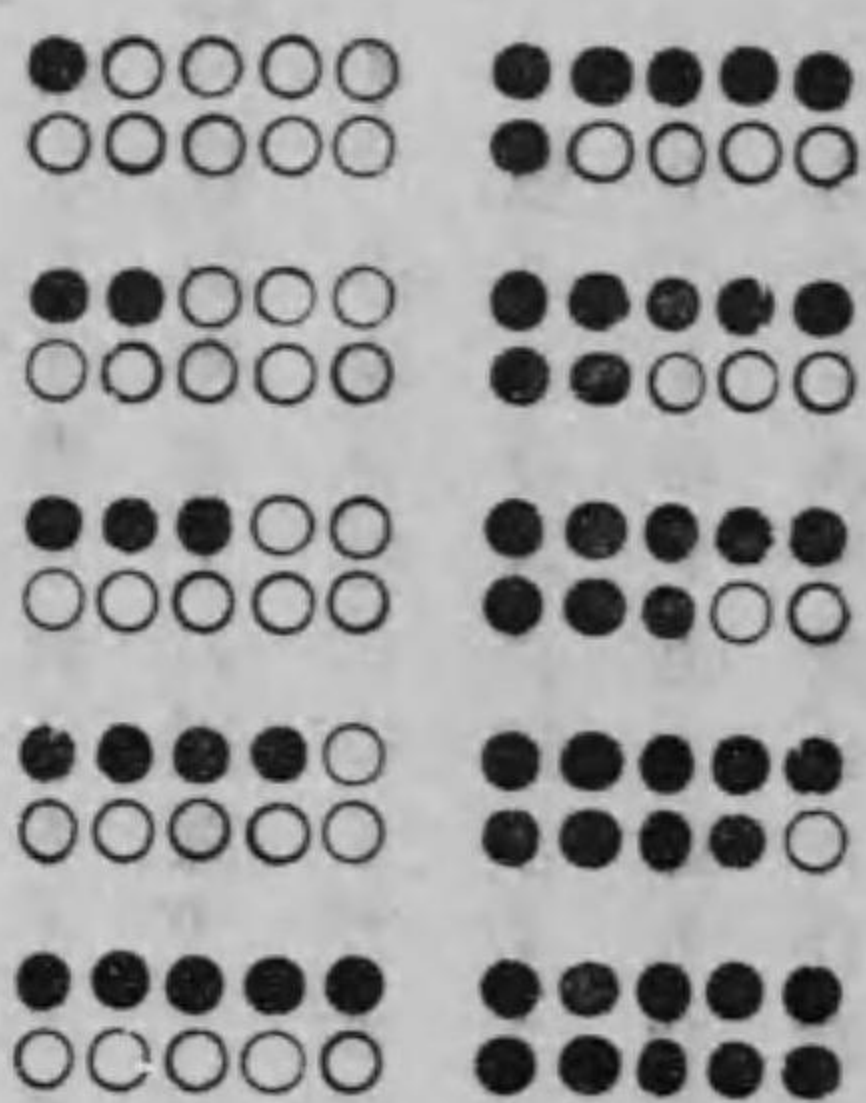
ロ、數圖の排列は數の成立の自然の順序即ち系列的に排列せらるゝを要する

ハ、數圖の排列は計算の定理を示すに足るものでなければならぬ。

ニ、數圖の圖形は縦に排列するよりも横に排列するを可とする。

ホ、數圖に表はすべき數の範圍は十までを限度とする。

三、吾人の採用せる數圖。



一より五迄を一多の關係により排列したこは數の發達が五指に起因すと云ふ点より或は自然の計數器として手指を用ひしむる連絡上よりかくしたのである一列を四以下に限ると云ふ説は有力にして且理由あることではあるが五と雖も多少の練習を経れば容易に直觀し得るものであるから其他の便

宜より考へてかく排列したのである。

尙背景的に白丸を附けたのは加減の定理を理解せしむること補數關係を知ら

しむるためである補數關係は甚だ重要なもので十以上の計算の基礎は之れにあるのであるから數圖を用ふる時代より之れを知らしめ殆んど自然的に明瞭なる了得を與ふることは最も重要なればかくしたのである。

#### 四、數圖使用上の注意。

イ、心象を得しむることに注意すること 數圖は只一より十までの數へ方を教ふるのみに用ひらるゝ向も多様であるがなくては數圖の價値を大に減するものである即ち數圖は明瞭なる心象を得しむるやうに使用されねばならぬそれが爲めには常に多く兒童の眼に觸れしむる必要があるから數圖は算術教授中は之れが使用の如何に拘はらず其他の時間と雖も常に教室に揭示し置き多く兒童の眼に觸れしめ十以下の數は直ちに其心象を思ひ浮べ得るやうにせねばならぬ尙其心象を容易に思ひ浮べ得るやうにする練習としては之れをカードに一枚々々に記し置き順序に又は不順序に之れを兒童の前に提示して其心象を思ひ浮べ得るやう練習するがよいと思ふ。

ロ、數圖は長く使用するは宜しくない計算發達の順序を考へて見るに大様四

つの段階がある様である即一、實物等の直觀物によりて計算を行ふ直觀計算の時期二、數の心象により計算を行ふ觀念計算の時期三、數字によりて計算する數字計算の時期四、數詞によりて計算を行ふ概念計算の時期であるされば數圖は第三の時期數字計算の時期に入る前に取り去らねばならぬ計算は數字計算より概念計算に進みて初めて確實迅速に至るものである第一第二の時期に於てはたとひ問題は數詞によりて與ふるも兒童は觀念計算をなすものであるから如何に練習するも迅速ならしむることは到底出來ないのである故に數字を教へ之れによりて計算をなさしめんとする時期に至つたならば數圖の使用は之れを停止しなければならぬ何時迄も之れを使用するときは兒童は數字を知り之れにより計算し得るに拘はらず心象により計算せんとするかくては計算の迅速は望み得られぬのである故に數字を教授して之れによりて計算をなさしめんとするときには數圖は絶對に其使用を止めねばならぬ。

ハ、計算の定理を知らしむることを務めねばならぬ 數圖を使用するの目的

は單に數ふることを教ふるのみではない計算の定理を知らしむるにありとは前に述べた通りであるから數圖の使用に對しても此目的を達すべく常に注意せねばならぬ。

數圖  $\begin{matrix} \bullet & \bullet & \bullet & \bullet & \bullet \\ \bullet & \bullet & \bullet & \bullet & \bullet \\ \bullet & \bullet & \bullet & \bullet & \bullet \end{matrix}$  によりては (1) 8 は 5 と 3 の集なること即ち  $5+3=8$ 、 $3+5=8$ 、 $8-3=5$ 、 $8-5=3$  を加ふれば 10 となることこれは兒童には困難なる仕事ではあるが最重要なる事であら是非授けねばならぬ而して充分の了得を與ふべきである此目的を達せんが爲めに特に白丸の背景を付したのである以上の外あらゆる數の計算を授けんとする即ち數を多方面に取扱はしむべしとの説もあるが自分はこれをとらぬ數圖は左様に多くの要求をすべきものではない故に各數圖の有する特徴をとりて之れより授け得る計算の定理を授ければ充分であると思ふ。

二、數圖は出來得る限り計數器と連絡をとらねばならぬ 數圖には數圖、計數器には計數器の特徴があるから各其特征を發揮すれば宜いとて各獨立して使用するの甚だ不得策である出來得る限り計數器と連絡せしむる事は

双方を益有益に用ふる事となるのである従つて計數器も數圖と連絡し得るものをなるべく採用するが宜しい。

## 第二節 計數器

一、計數器の價值 數圖は心象を與ふる爲めには必要のものであるが固定的にして變化性に乏しいと云ふことは實に各數圖を通じて共通の欠点であると思はれる此点に於て計數器は大に勝つて居ると云はねばならぬ即ち直觀物の運動によりて數の成立を知らしむる事を得又數の分解總合を直觀せしむる事の出來る点に於ては數圖に勝ること數等である實に初等算術教授に於て直觀方便物中其利用の範圍の廣くして効果の大なる事に於て其右に出づるものはあるまいと思へる。

計數器は普通二様の意味に用ひらるゝ即ち一、數へることの直觀方便物として用ひらるゝのと二、計算の原則を直觀理解する場合とに用ひらるゝ前者の場合に於ては之れを計數器後の場合に於ては之れを計算器と云ひたいのであるしかし別に分けて名づくる程の必要もないから只計數器と呼んでも差支は



あるまい。

計數器の重なる用途は何かと云へば一、數へることの直觀方便物として用ふること二、十進法の原則を具体的に示して數系統の知識を與ふること三、計數の經過を直觀せしむること等が重なるものであつて算術の初歩の教授は以上の三目的を達することが出来れば充分である此意味からも計數器の必要なることは確である。

計數器は自然物の方が勝つて居る自然物を計數器として用ふれば充分であつて人工的の計數器などを用ふるに及ばないとの説を唱ふる人もあるが自然物は計數器として甚だ價値あるもので大に之れを用ふる事は自分も賛成する所であるが以上の三目的を完全に達する爲めには不十分の点が甚だ多いからやはり計數器は自然物に勝るの效果あるものとして使用したいのである。

## 二、計數器使用の數範圍。

イ、數ふることの直觀方便物としては十以下に止めたいのである 數ふる事に依りて得らるべき數概念が十以下である以上は夫れ以上の數概念は數系

統の知識によりて與へねばならぬ故に數へることの直觀方便物としては十以下に止めたいのである。

ロ、數ふる事のみによりて解く計算 $9+2=11$ の如き場合にも又十以下の計算に計數器を使用したのである。

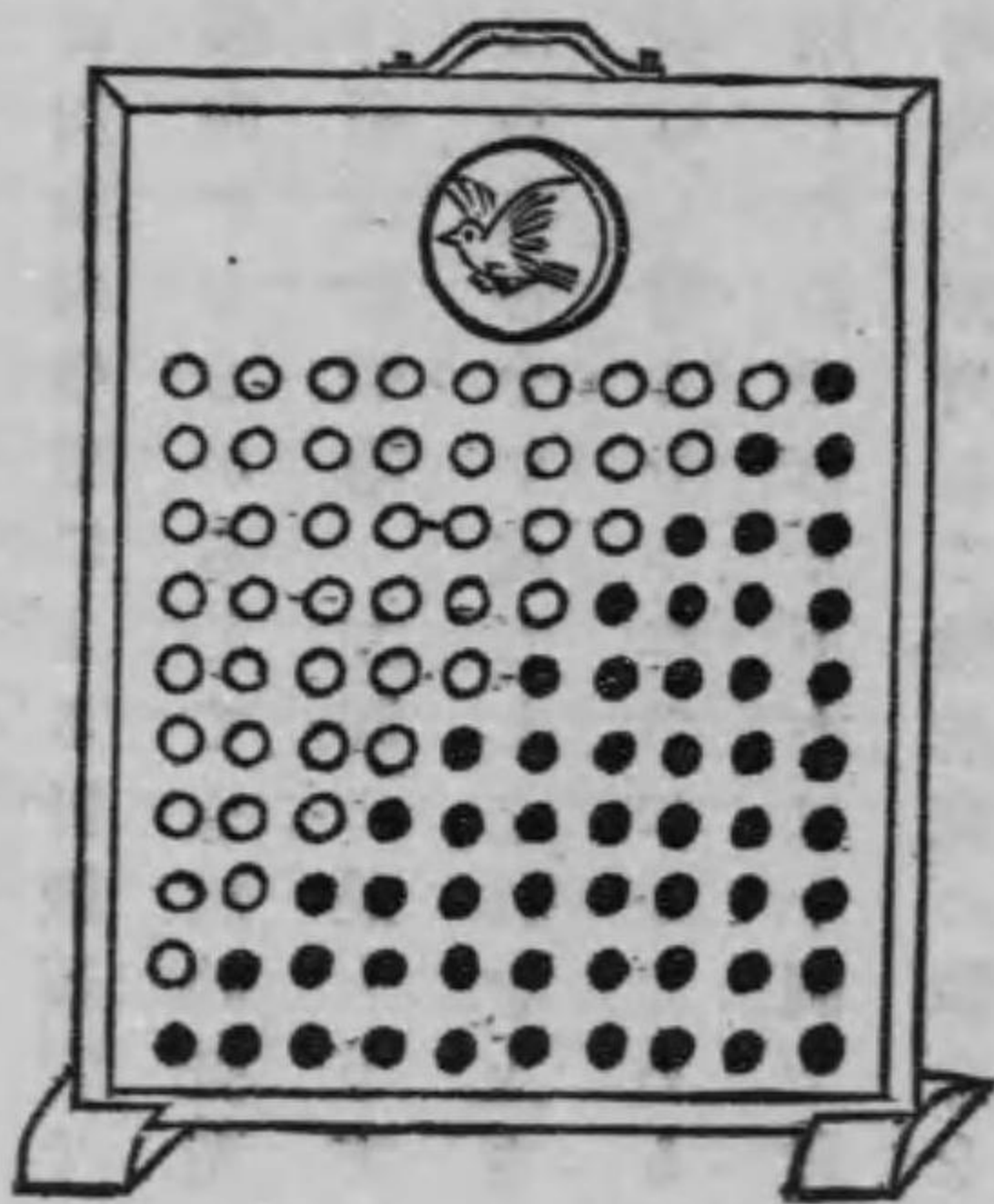
ハ、計數器としては二十以下に用ひたい 15-7の場合に於ては數ふる事によりて説く方法は宜しくない是非共既習の知識を應用して15を10と5とに分解し10より7引き3とし5と3とを加へて8とせねばならぬ之れ兒童には最も難しとする教材にして又重要なものである之れを計數器によりて其經過を直觀せしめねばならぬ即計數器としては二十以下に止めたいと思ふ。

三、教師用計數器 自分は兒童用計數器は特に人工的のものを用ひないこれは重に自然物によりたいとの意見である計數器としては教師用のみを用ひて居る而して此計數器は自分が考案した二種類を用ひて居る一は假に之れを三藏式計數器と名づけ一は廻轉式計數器と名づけて居るこれ等計數器考案の基礎として凡そ左の條件に叶はしむべく務めたのである。

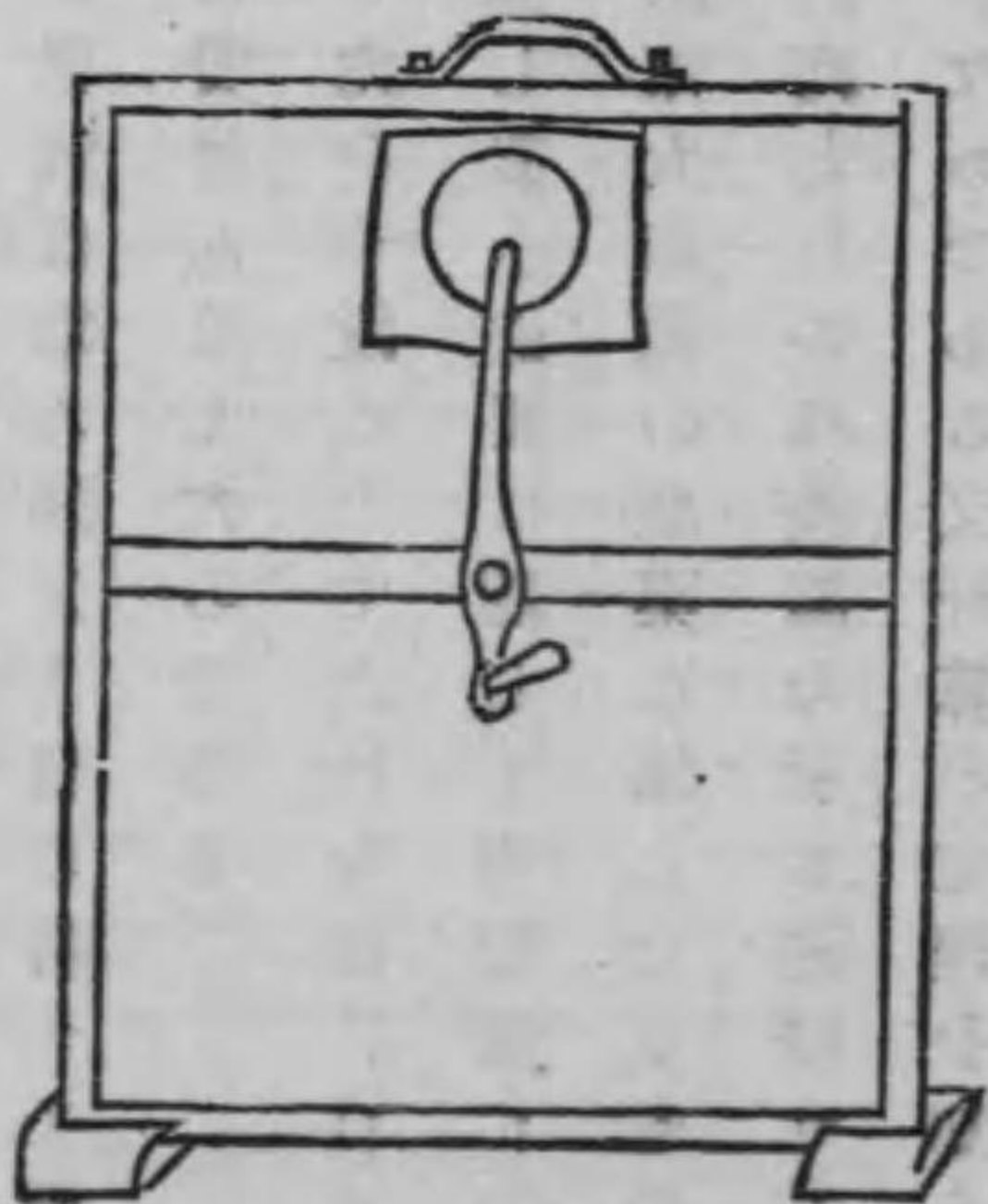
- イ、數の系統及系列を知らしむるに便なること。
  - ロ、基礎の計算の運算の経過を直觀せしむるに便利なること。
  - ハ、計數器は教室の最後よりも充分に見得る大きさを有すること。
  - ニ、構造堅牢にして其取扱の容易なるもの。
  - ホ、兒童の注意を集中するに便なること。
  - ヘ、構造の簡單にして教師の手により作り得ること。
- 自分の考案した計數器は以上の條件を基礎として作つたので其構造使用法の大要を左に記載する。

四、廻轉式計數器 左圖の通り板上に小圓孔を窄ち後方に於て廻轉することによりて此圓内に繪畫の現はれ來るやう作りたるものにて此繪畫は筆(本)犬猫馬(匹)鳩鶏(羽)書物雜記帳(冊)三十箱其他の小箱(箱)等名數教授に必要なものを用ふ。

正面圖



裏面圖



使用法は兒童をして孔を注視せしめ置き其廻轉の度數を數へしめ何本何冊と答へしむるのである。

こは最初の名數教授に用ふるの目的にて作りたるものにて經驗の結果只普通の計數器を用ふるよりも一層長く兒童の注意を繼續することが出來て兒童を

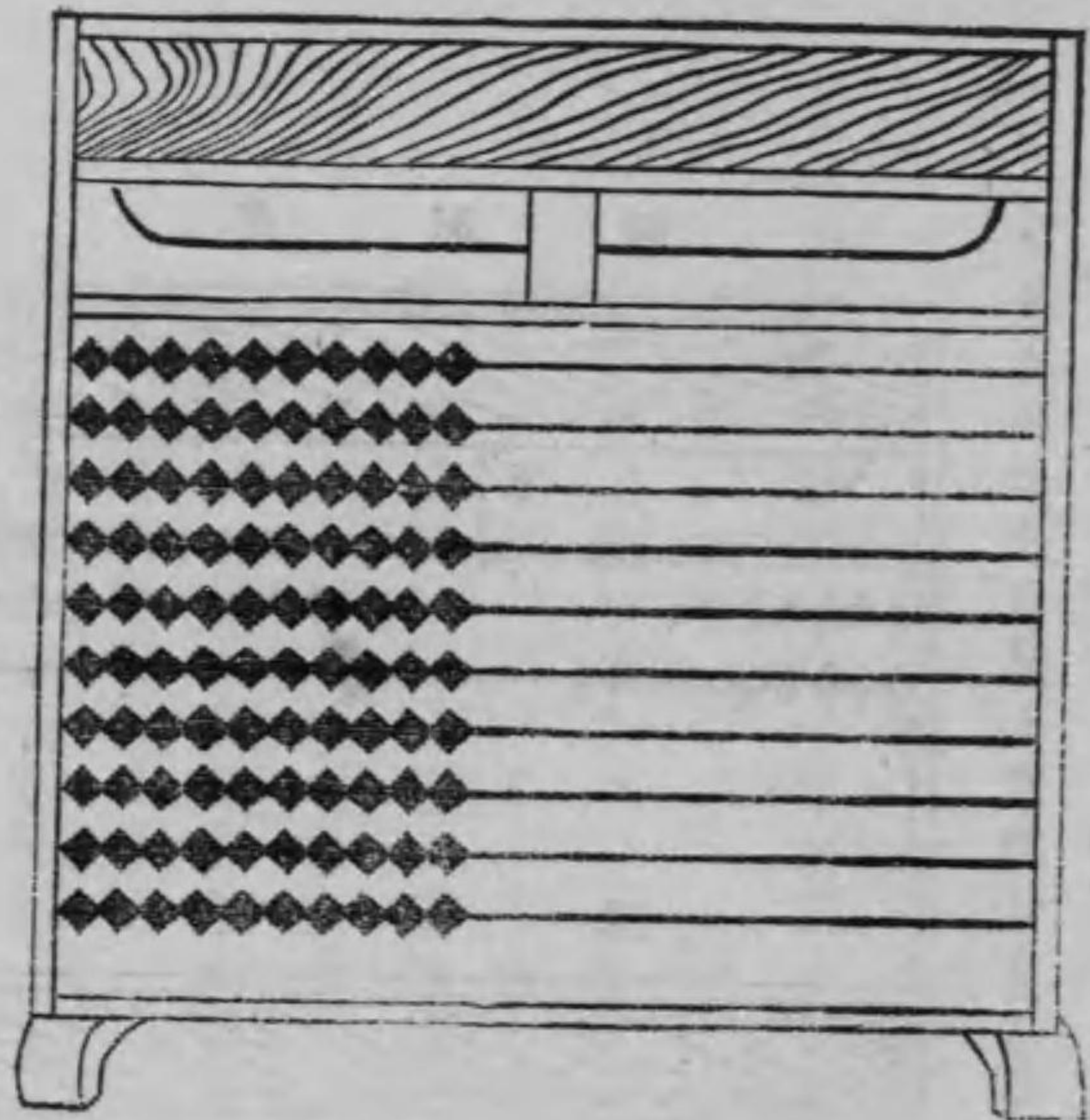
して其注意の養成上にも多大の効果ある事を認められた。

板上に現はしたる數圖は特に之れを使用せんとにはあらず前述の數圖との連絡をとりて知らずくの間には數觀念を明確ならしめんと目的である。

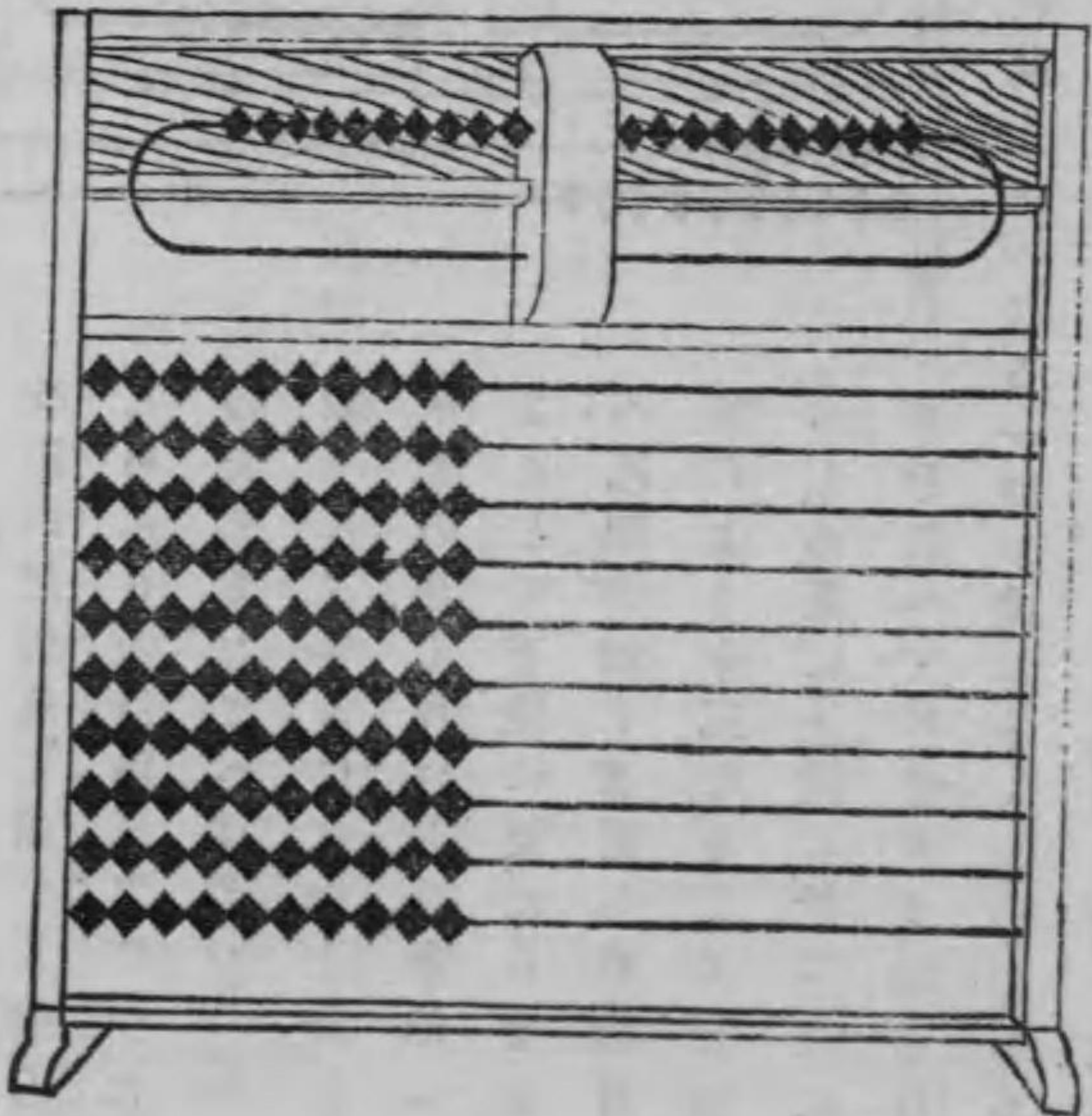
尙裏面に呼鈴を附けたのは聽覺型による計數練習に使用せんと目的である或は手をうち或は其他の方法によりて音を發して兒童に之れを數へしむることとは勿論聽覺型による計數練習ではあるが兒童は寧ろ耳より目に訴へて數ふる傾向があるからして全然聽覺型の練習に資せんとしたのである。

五、三藏式計數器 左圖の通り下方は球十ヶ宛を十段として之れを枠にはめ上方は左右各十ヶ宛とし之れを上方板後に隠し置き必要に応じて空位置に自由に現はし得るやう作つたのである球は教師用大算盤の廢棄に歸したるものを利用したのである下方は十個十段百個を排列したのは數圖の形と連絡せしめ系列的に排列して數系統の觀念を興へんがためである又計算の定理を知らしむるにも至極都合がよいのである。

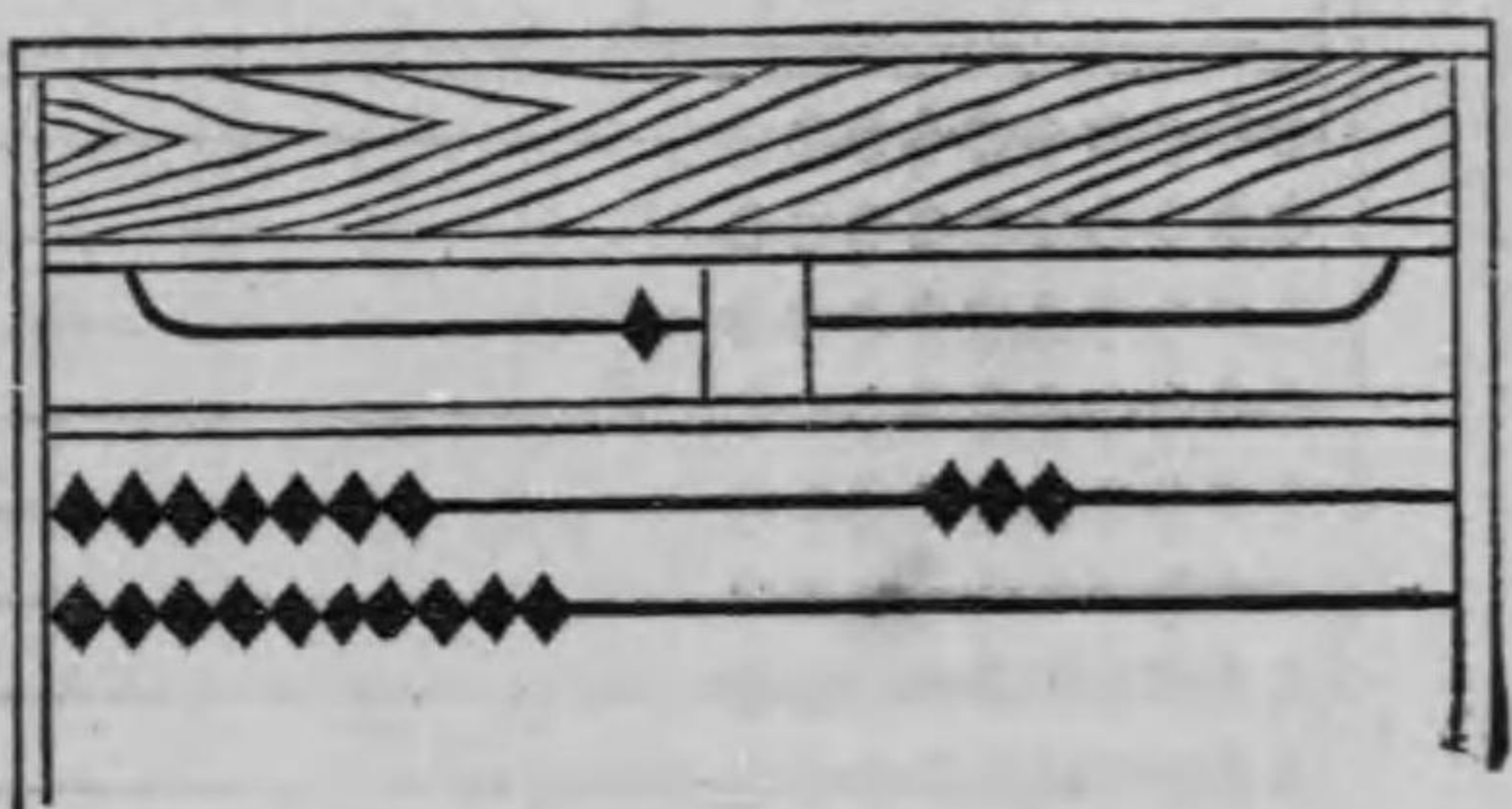
正面圖



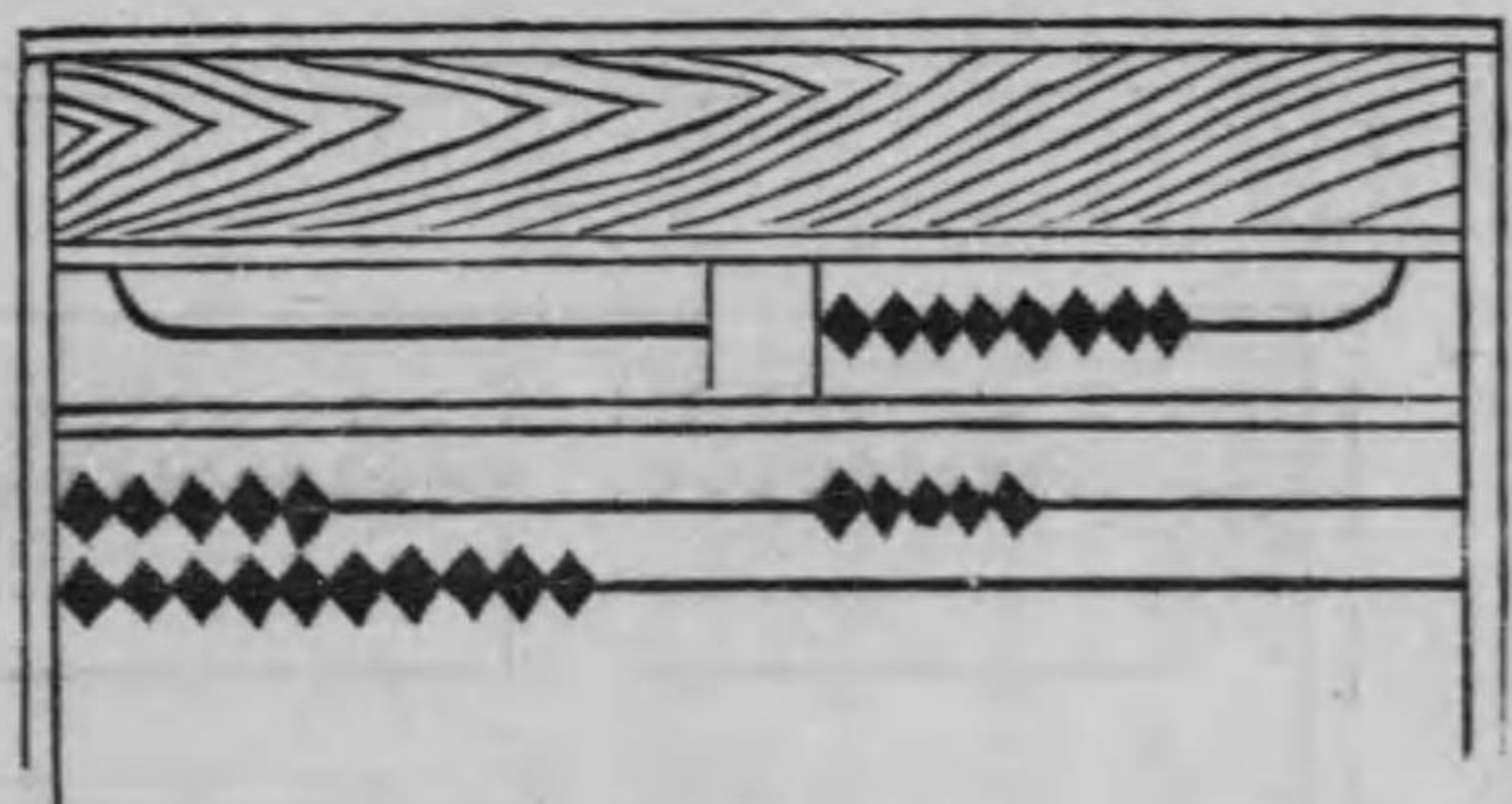
裏面圖



裏面圖



裏面圖



つた之れを上に戻し左方に1の下に此1は10なる一團を代表するものであるから尙3残つて居る故更に3の右方に下して13となるを教ふるのであるかくすれば兒童の最困難とす

上段は主として計算の経路及位置記數法に就いて知らしめんと目的にて作つたのであるたとへば  $8+5=13$  を教へんとするには先上段の甲圖の如く現はし5を加ふるとして下段に更に5を加へ乙圖の如く布置し直觀計算により十三なることを知らしめ更に上段に於て8に2を加へて10とする10とな

る加法の分解總合を直觀により知らしむるのである全時に前の説明により上方の小黒板を利用して位置記數法を教ふることも出来る減法の教授法も殆んど之れと全じ方法によればよいのである。

### 第三節 初步の名數教授に關するもの

初步の名數教授としては左記の教具を設備して置きたいと思ふ。

- (枚) 紙、色紙
- (本) 筆、鉛筆、白墨、小枝
- (匹) 犬、猫、鼠、馬、牛等の繪畫及標本
- (羽) 鶏、鳩、雀、等の繪畫及標本
- (箱) 兒童の手工にて製作せし箱及マッチ箱等
- (錢) 一錢二錢の青銅貨五錢の白銅貨十錢二十錢の銀貨
- (厘) 五厘の青銅貨一厘錢
- (圓) 五十錢銀貨一圓紙幣
- (時) 時計

(尺) 物詣

此他人、字、俵、軒、艘、籠、袋、日、行、列、組、週等の教授には其都度適當に準備するがよい。

#### 第四節 基礎的教材練習表

前に基礎的教材の項に於て述べた所の第一號表より第十二號表迄を各一葉の表に製作して置くので大さは教室の最後方より明に見得るを程度としたらよいと思ふ自分は各數字の大きさはたて 寸横 寸のゴム印を用ひて押捺するものを採用して居る。

#### 第五節 諸等數求積歩合算の教授に關するもの

一、長さ

イ、物指四種 曲尺、鯨尺、メートル尺、インチ尺。

ロ、メートル間等にて現はせる測量繩。

ハ、間竿。

長さの單位の名稱を授くるに當りては以上の教具を設備し置いて必ず直觀さ

せねばならぬ而して管に兒童をして直觀せしむる許りでなく之れが使用に慣れしめなければならぬ故に設備に際しては兒童各自が使用し得るだけ準備し置かねばならぬ。

二、求積

イ、一平方尺、一平方寸、一平方分、一平方メートル等の板もしくは馬糞紙

ロ、校地測量圖。

ハ、一斗楯、一升楯、五合楯、一合楯。

ニ、一立方寸の木片百個之れを組合せて一立方尺となるもの。

ホ、測量用定規、間竿、間繩等。

面積體積の教授が困難であると云ふのは直觀によらずして教授せんとするかからである以上の設備を整へ置きて必ず直觀によりて教へ尙常に實測をなしためたなら面積體積の教授は餘りの困難を感ずるものではない。

三、重量、貨幣、時間、温度等。

イ、手秤、秤秤、臺秤。

- ロ、一匁、二匁、四匁等の目方を有する趣状。
- ハ、百匁、五百匁、一貫、一キログラムの砂袋及石。
- ニ、本位貨幣及補助貨幣の模型及繪畫。
- ホ、時計。
- ヘ、寒暖計及体温器。
- ト、コンパス、定規、分度器。
- 四、歩合算。
  - イ、土地の各種類別の税率表。
  - ロ、種類別の所得税率表。
  - ハ、種々の税金の種類別税率表。
  - ニ、府縣及市町村税の種類及税率表。
  - ホ、公債の種類及其雛形。
  - ヘ、株券の雛形。
  - ト、郵便の種類別、重量並に郵税表。

子、爲替證券の雛形。

リ、手形小切手の雛形。

歩合算の教授には是非其以上の教具が必要である而して之れを設備する爲めには餘り多くの費用と努力とを要せぬであるしかるに一般の状況は其設備が甚だ不完全である之れ歩合算の教具は無くとも不完全なる教授はなし得るかちであるしかしこれは非常に不完全であるかゝる教授は常に計算が充分に出來得ない許りではない本教材が要求する實生活上必要なる知識を與ふことは到底出來ない此目的を遂行することが出來なくては小學校の算術教授の主目的は達することは出來ぬと云ふことになるのである故に以上の教具は是非其準備し置きたいのである。

### 第六節 施設

一、長さに關する施設。

イ、元標 校内適當の場所に設置し之れより各重要地に至る距離を記入して兒童の參考とし且兒童が家庭より學校に至る歩測の標準たらしむ。

- ロ、一匁、二匁、四匁等の目方を有する趣状。
  - ハ、百匁、五百匁、一貫、一キログラムの砂袋及石。
  - ニ、本位貨幣及補助貨幣の模型及繪畫。
  - ホ、時計。
  - ヘ、寒暖計及体温器。
  - ト、コンパス、定規、分度器。
- 四、歩合算。
- イ、土地の各種類別の税率表。
  - ロ、種類別の所得税率表。
  - ハ、種々の税金の種類別税率表。
  - ニ、府縣及市町村税の種類及税率表。
  - ホ、公債の種類及其雛形。
  - ヘ、株券の雛形。
  - ト、郵便の種類別、重量並に郵税表。

子、爲替證券の雛形。

リ、手形小切手の雛形。

歩合算の教授には是非共以上の教具が必要である而して之れを設備する爲めには餘り多くの費用と勞力とを要せぬであるしかるに一般の狀況は其設備が甚だ不完全である之れ歩合算の教具は無くとも不完全なる教授はなし得るかであるしかしこれは非常に不完全であるかゝる教授は管に計算が充分に出來得ない許りではない本教材が要求する實生活上必要なる知識を與ふことは到底出來ない此目的を遂行することが出來なくては小學校の算術教授の主目的は達することは出來ぬと云ふことになるのである故に以上の教具は是非共準備し置きたいのである。

### 第六節 施設

#### 一、長さに関する施設。

イ、元標 校内適當の場所に設置し之れより各重要地に至る距離を記入して兒童の参考とし且兒童が家庭より學校に至る歩測の標準たらしむ。

- 、基測柱 運動場内適當の位置に之れを設置して更三十間六十間等を隔てたる距離に目標を設け兒童が歩測目測等をなすの標準たらしむ。
- ハ、高さに就いて 校舎の高さ、樹木の高さ等を測量して之れを兒童に知らしむるやうにし且其測定の方法をも記載し兒童の目に觸れ易き所に之れを置き高さに關する觀念の確實を計る。
- ニ、教室内の施設 教室内の縦横の長さ及高さを測定して之れを揭示し物指間竿等を各教室に準備し置きて兒童をして常に教室内の物品を測定せしむ
- 二、求積に關する施設。
  - イ、一坪及一畝歩の觀念養成 運動場内適當の位置に一坪及一畝歩を區劃して常に兒童の目に觸れしむる様にして其の觀念の確立を計る。
  - ロ、校地圖 校地圖を作製して其面積を記入して運動場内適當の位置に揭示し其測定の方法をも記載す。
  - ハ、一坪の体積の觀念養成 立坪一坪の砂箱を適當の位置に設置し体積の觀念を養成すると共に各種の樹を備へ置き兒童各自に之れを使用せしめ量に

關する觀念養成の資料とす。

- 二、教室内の設備 教室内の床の面積及測面積体積等を測定して之れを揭示し尙教室に備へ付け置きたる物指間竿等により兒童をして面積体積等に付常に測定せしむ。

### 三、重量に關する施設。

- イ、衡器 適當の位置に備へ付け置き教師の指導の下に之れを使用せしめ其取扱になれしめ石、砂袋等に目方を付し置きて筋測の標準とす。
- ロ、筋測 校内日常使用の器具等にはなるべく重量を付し置きて兒童が常に之れを使用する間に知らず／＼筋測の練習をなさしむ。

## 算術科教授ノ實際的研究 終



各學年練習帳形式一覽

第一學年練習帳

(本練習帳ハ第一學期ヨリ之ヲ使用セシム)



減法 九々 (其一)

2-1	3-1	4-1	5-1	6-1	7-1	8-1	9-1	10-1
3-2	4-2	5-2	6-2	7-2	8-2	9-2	10-2	
4-3	5-3	6-3	7-3	8-3	9-4	10-4		10-6
5-4	6-4	7-4	8-4	9-4	10-4			8-6
6-5	7-5	8-5	9-5	10-5				7-6
7-6	8-6	9-6	10-6					9-4
8-7	9-7	10-7						4-2
9-8	10-8							6-5
10-9								8-6
								9-4
								6-5
								8-6
								9-4
								6-5
								8-6
								9-4
								6-5
								8-6
								9-4
								6-5
								8-6
								9-4
								6-5
								8-6
								9-4
								6-5
								8-6
								9-4
								6-5
								8-6
								9-4
								6-5
								8-6
								9-4
								6-5
								8-6
								9-4
								6-5
								8-6
								9-4
								6-5
								8-6
								9-4
								6-5
								8-6
								9-4
								6-5
								8-6
								9-4
								6-5
								8-6
								9-4
								6-5
								8-6
								9-4
								6-5
								8-6
								9-4
								6-5
								8-6
								9-4
								6-5
								8-6
								9-4
								6-5
								8-6
								9-4
								6-5
								8-6
								9-4
								6-5
								8-6
								9-4
								6-5
								8-6
								9-4
								6-5
								8-6
								9-4
								6-5
								8-6
								9-4
								6-5
								8-6
								9-4
								6-5
								8-6
								9-4
								6-5
								8-6
								9-4
								6-5
								8-6
								9-4
								6-5
								8-6
								9-4
								6-5
								8-6
								9-4
								6-5
								8-6
								9-4
								6-5
								8-6
								9-4
								6-5
								8-6
								9-4
								6-5
								8-6
								9-4
								6-5
								8-6
								9-4
								6-5
								8-6
								9-4
								6-5
								8-6
								9-4
								6-5
								8-6
								9-4
								6-5
								8-6
								9-4
								6-5
								8-6
								9-4
								6-5
								8-6
								9-4
								6-5
								8-6
								9-4
								6-5
								8-6
								9-4
								6-5
								8-6
								9-4
								6-5
								8-6
								9-4
								6-5
								8-6
								9-4
								6-5
								8-6
								9-4
								6-5
								8-6
								9-4
								6-5
								8-6
								9-4
								6-5
								8-6
								9-4
								6-5
								8-6
								9-4
								6-5
								8-6
								9-4
								6-5
								8-6
								9-4
								6-5
								8-6
								9-4
								6-5
								8-6
								9-4
								6-5
								8-6
								9-4
								6-5
								8-6
								9-4
								6-5
								8-6
								9-4
								6-5
								8-6
								9-4
								6-5
								8-6
								9-4
								6-5
								8-6
								9-4
								6-5
								8-6
								9-4
								6-5
								8-6
								9-4
								6-5
								8-6
								9-4
								6-5
								8-6
								9-4
								6-5
								8-6
								9-4
								6-5
								8-6
								9-4
								6-5
								8-6
								9-4
								6-5
								8-6
								9-4
								6-5
								8-6
								9-4
								6-5
								8-6
								9-4
								6-5
								8-6
								9-4
								6-5
								8-6
								9-4
								6-5
								8-6
								9-4
								6-5
								8-6
								9-4
								6-5
								8-6
								9-4
								6-5
								8-6
								9-4
								6-5
								8-6
								9-4
								6-5
								8-6
								9-4
								6-5
								8-6
								9-4
								6-5
								8-6
								9-4
								6-5
								8-6
								9-4
								6-5
								8-6
								9-4
								6-5
								8-6
								9-4
								6-5
								8-6
								9-4
								6-5
								8-6
								9-4
					</			



月 日 曜 ( )				
範 題				

月 日 曜 ( )				
範 題				

0123456789

0123456789

6789





第 二 學 年		補 數		九 々	
1	0	—	4	+	1
1	0	—	1	+	0
1	0	—	9	+	0
1	0	—	6	+	0
1	0	—	2	+	0
1	0	—	7	+	0
1	0	—	3	+	0
1	0	—	5	+	0
1	0	—	8	+	0
1	0	—	7	+	0
1	0	—	9	+	0

## 加法 九々 (其二) 減法 九々 (其二)

6+6=	6+5=	7+6=	8+7=	9+8=
7+7=	7+5=	8+6=	9+7=	7+4=
8+8=	8+5=	9+6=	8+4=	9+5=
9+9=	8+3=	9+4=	9+3=	9+2=
11-2=	11-9=	11-3=	11-8=	11-4=
11-7=	11-5=	11-6=	12-3=	12-9=
12-4=	12-8=	12-5=	12-7=	12-6=
13-4=	13-9=	13-5=	13+8=	13-6=
13-7=	14-5=	14-9=	14-6=	14-8=
14-7=	15-6=	15-9=	15-7=	15-8=
16-7=	16-9=	16-8=	17-8=	17-9=
18-9=				

## 基礎數連加連減準備表

18+4=	29+3=	32+8=	12+9=	26+6=	35+8=
19+4=	33+8=	14+9=	29+9=	37+8=	45+5=
18+9=	27+4=	38+3=	49+5=	13+9=	27+6=
36+8=	16+9=	39+8=	47+5=	11+9=	34+8=
15+9=	38+8=	27+7=	46+9=	46+5=	17+9=
26+4=	48+5=				
32-3=	22-4=	18-9=	43-8=	32-6=	21-9=
41-8=	23-4=	45-8=	34-6=	23-9=	12-7=
54-5=	41-3=	31-4=	27-9=	14-7=	42-8=
31-9=	20-9=	51-5=	46-8=	35-6=	24-9=
13-7=	53-5=	26-9=	15-7=		

基礎累加累減表

1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	100
2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	100
3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	102
4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	100
5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	100
6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	102
7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	105
8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	104
9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	108
10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	100

基礎數連加表 (其一)

0	7	2	9	4	1	6	3	8	5	45
3	7	2	9	4	1	6	3	8	5	48
1	7	2	9	4	1	6	3	8	5	46
5	7	2	9	4	1	6	3	8	5	50
9	7	2	9	4	1	6	3	8	5	54
4	7	2	9	4	1	6	3	8	5	49
7	7	2	9	4	1	6	3	8	5	52
2	7	2	9	4	1	6	3	8	5	47
6	7	2	9	4	1	6	3	8	5	51
8	7	2	9	4	1	9	3	8	5	53

乗法 九々 二位數ニ基數ヲ掛クルモノ

- 2×2= 3×3= 4×4= 5×5= 6×6= 7×7=
  - 2×3= 3×4= 4×5= 5×6= 6×7= 7×8=
  - 2×4= 3×5= 4×6= 5×7= 6×8= 7×9=
  - 2×5= 3×6= 4×7= 5×8= 6×9=
  - 2×6= 3×7= 4×8= 5×9= 8×8=
  - 2×7= 3×8= 4×9= 8×9=
  - 2×8= 3×9= 8×9=
  - 2×9= 9×9=
- 17 15 18 14 11 } × 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9.
- 16 13 19 12

( ) 曜 日 月

範 題										

0123456789

月 日 曜 ( )	
範	
題	

第三學年練習帳

0123456789

第三學年練習帳

0123456789

### 第三學年

加法九九 (其二)      減法九九 (其二)

$6+6=$	$6+5=$	$7+6=$	$8+7=$	$9+8=$
$7+7=$	$7+5=$	$8+6=$	$9+7=$	$7+4=$
$8+8=$	$8+5=$	$9+6=$	$8+4=$	$9+5=$
$9+9=$	$8+3=$	$9+4=$	$9+3=$	$9+2=$
$11-2=$	$11-9=$	$11-3=$	$11-8=$	$11-4=$
$11-7=$	$11-5=$	$11-6=$	$12-3=$	$12-9=$
$12-4=$	$12-8=$	$12-5=$	$12-7=$	$12-6=$
$13-4=$	$13-9=$	$13-5=$	$13-8=$	$13-6=$
$13-7=$	$14-5=$	$14-9=$	$14-6=$	$14-8=$
$14-7=$	$15-6=$	$15-9=$	$15-7=$	$15-8=$
$16-7=$	$16-9=$	$16-8=$	$17-8=$	$17-9=$
$18-9=$				



基數累加累減表

1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10

連加連減準備表

18+4	29+3	32+8	12+9	26+6	55+8	19+4
24+6	33+8	14+9	28+6	32+8	45+5	18+9
27+4	38+3	49+5	13+9	29+6	36+8	16+9
39+8	47+5	11+9	25+6	34+8	15+9	29+6
38+8	46+5	17+9	37+8	48+5		
46-8	32-3	22-4	43-8	32-6	22-9	41-8
30-6	23-4	50-5	45-8	34-6	33-9	54-9
41-3	31-4	27-9	44-8	33-6	22-9	52-5
48-8	30-1	25-6	42-8	31-6	30-9	51-5
46-8	35-6	24-9	53-3	40-3	30-4	26-9

基数連加連減表

0	7	2	9	4	1	6	3	8	5	4	5
3	7	2	9	4	1	6	3	8	5	4	8
1	7	2	9	4	1	6	3	8	5	4	6
5	7	2	9	4	1	6	3	8	5	5	0
9	7	2	9	4	1	6	3	8	5	5	4
4	7	2	9	4	1	6	3	8	5	5	4
7	7	2	9	4	1	6	3	8	5	5	2
2	7	2	9	4	1	6	3	8	5	5	7
6	7	2	9	4	1	6	3	8	5	5	1
8	7	2	9	4	1	6	3	8	5	5	3

乘法九々

5×5=	5×7=	7×8=	5×6=	4×3=	5×8=	7×9=
8×9=	7×7=	4×5=	3×3=	2×3=	2×4=	3×6=
4×8=	6×9=	4×9=	2×7=	3×7=	3×9=	8×8=
6×8=	9×9=	3×2=	2×5=	3×8=	2×8=	2×6=
3×5=	6×6=	3×4=	4×4=	4×7=	2×9=	5×9=

二位數ニ基数ヲカクルモ

25	27	36	19	17	28	15	39	} × 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9.
18	24	13	23	22	14	34	33	
26	16	29	38	21	12	31	35	
37	32							

		商		發		見					
13	11	19	9	17	5	3	7	18	÷	2	
20	10	11	19	28	17	25	7	14	}	÷	3
16	5	4	29	13	26	23	22				
25	17	15	18	35	26	39	34	22	}	÷	4
38	14	29	10	33	11	27	19	13			
7	37	6	31	30	5	9					
12	18	27	33	32	38	41	47	17	}	÷	5
9	16	23	37	44	29	46	24	42			
19	11	22	8	36	14	21	34	49			
7	48	43	13	6	28	31					

		商		發		見				
20	38	19	53	59	9	62	55	48	41	33
26	19	12	10	18	25	32	39	45	54	60
58	66	69	67	52	51	44	47	40	37	31
23	17	11	24	30	43	50	57	65	64	61
36	34	29	8	15	68	16	13	27	22	
76	14	20	26	34	38	46	53	59	51	66
74	79	61	54	41	25	18	23	30	44	60
73	71	78	68	63	55	47	39	33	27	19
12	10	22	31	42	49	67	75	77	70	65
58	45	11	9	13	69	15	50	17	21	28
35	29	36	43	37	63	57				

7	50	28	41	10	21	59	25	49	56	47	27
20	13	39	53	57	38	35	34	32	52	37	} + 6
31	43	46	29	40	9	15	45	58	16	33	
11	22	55	19	26	17	14	51	44	23	8	
15	41	34	35	19	22	89	17	21	42	28	
26	86	14	44	62	31	32	82	84	59	30	
87	40	37	12	79	84	67	43	39	25	85	
64	24	46	47	49	33	58	80	23	51	50	
46	38	68	16	53	48	60	55	65	52	57	
70	71	61	20	69	66	74	75	83	11	10	
73	76	56	88	29	13	78	77				
											+ 9

月 日 曜 ( )	
範 題	頁 數 (教科書)

月 日 曜 ( )

範  
・  
題

頁  
數  
(教科書)

模式問題ハ第二章第三節教材ノ輕重ノ項ニ記載シタル模式問題ヲ採  
用シタルモノナレバ全部記載セズ一部ニ止ム

(1) 次の數を讀め

2900      3865

(2) 次の數を數字にてかけ

八千五百六十二      九千九百九十九

(3)

$\begin{array}{r} 143 \\ +53 \end{array}$	$\begin{array}{r} 1235 \\ +135 \end{array}$	$\begin{array}{r} 2132 \\ +132 \end{array}$	$\begin{array}{r} 1235 \\ +40 \end{array}$	$\begin{array}{r} 3800 \\ 10 \\ +502 \end{array}$
---	---	---	--	---

(4)

$\begin{array}{r} 157 \\ +57 \end{array}$	$\begin{array}{r} 4192 \\ +542 \end{array}$	$\begin{array}{r} 4545 \\ +185 \end{array}$	$\begin{array}{r} 962 \\ +82 \end{array}$	$\begin{array}{r} 2535 \\ +135 \end{array}$
---	---	---	---	---

東京府立第一中学校の算術科の教科書

(1) 4000 + 3800 = 7800

(2) 7800 - 3800 = 4000

(3) 4000 + 3800 = 7800

(4) 7800 - 3800 = 4000

(5) 4000 + 3800 = 7800

(6) 7800 - 3800 = 4000

(7) 4000 + 3800 = 7800

(8) 7800 - 3800 = 4000

(9) 4000 + 3800 = 7800

(10) 7800 - 3800 = 4000

實地問題構成欄


0123456789

實地問題構成欄



第四學年練習帳

0123456789

第四學年練習帳

0123456789

# 第四學年

	加法九九	(其二) 減法九九	(其二)
6+6=	6+5=	7+6=	8+7=
7+7=	7+5=	8+6=	9+7=
8+8=	8+5=	9+6=	8+4=
9+9=	8+3=	9+4=	9+3=
			9+8=
			7+4=
			9+5=
			9+2=

11-2=	11-9=	11-3=	11-8=	11-4=
11-7=	11-5=	11-6=	12-3=	12-9=
12-4=	12-8=	12-5=	12-7=	12-6=
13-4=	13-9=	13-5=	13-8=	13-6=
13-7=	14-5=	14-9=	14-6=	14-8=
14-7=	15-6=	15-9=	15-7=	15-8=
16-7=	16-9=	16-8=	17-8=	17-9=
18-9=				



圖11

基數連加連減法 (其二)

4	8	9	6	5	3	1	2	4	7	4	9
1	8	9	6	5	3	1	2	4	7	4	6
6	8	9	6	5	3	1	2	4	7	5	1
3	8	9	6	5	3	1	2	4	7	4	8
5	8	9	6	5	3	1	2	4	7	5	0
2	8	9	6	5	3	1	2	4	7	4	7
7	8	9	6	5	3	1	2	4	7	5	2
9	8	9	6	5	3	1	2	4	7	5	4
0	8	9	6	5	3	1	2	4	7	4	5
8	8	9	6	5	3	1	2	4	7	5	3

縱横ノ和二百六十

1	2	62	61	60	59	7	8
9	10	54	53	52	51	15	16
48	47	19	20	21	22	42	41
40	39	27	28	29	30	34	33
32	31	35	36	37	38	26	25
24	23	43	44	45	46	18	17
79	50	14	13	12	11	55	26
27	58	6	5	4	3	63	94

二位數ニ基數ヲカクルモノ

46.	35.	37.	48.	57.	65.	74.	76.	
68.	58.	39.	28.	26.	34.	44.	33.	
53.	64.	72.	83.	66.	56.	55.	32.	
13.	23.	14.	54.	12.	22.	31.	71.	
62.	51.	63.	73.	21.	86.	89.	87.	× 2. 3. 4. 5.
96.	84.	94.	85.	92.	79.	78.	82.	
42.	47.	45.	27.	19.	25.	24.	38.	6. 7. 8. 9.
36.	77.	29.	69.	18.	59.	17.	49.	
15.	43.	16.	52.	41.	67.	88.	61.	
97.	81.	93.	95.	75.	91.	99.		

商 發 見

7	50	28	41	10	21	59	49	25	56	47	27	
20	13	39	53	57	38	35	34	32	52	37		
31	43	46	29	40	9	15	45	58	16	33		
11	22	55	19	26	71	14	51	44	23	8		} ÷ 6
15	41	34	35	19	22	89	17	21	42	28		
26	86	14	44	62	31	32	82	83	59	30		
87	40	37	12	79	84	67	43	39	25	85		
64	24	46	47	49	33	58	80	23	51	50		
46	38	68	16	53	48	60	55	65	52	57		} ÷ 9
70	71	61	20	69	66	74	75	83	11	10		
73	76	56	88	29	13	78	77					

20	38	49	53	59	9	62	55	48	41	33
26	19	12	10	18	25	32	39	45	54	60
58	66	69	67	52	51	44	47	40	37	31
23	17	11	24	30	43	50	57	65	64	61
36	34	29	8	15	68	16	13	27	22	
										÷ 7
76	14	20	26	34	38	46	53	59	51	66
74	79	61	54	41	25	18	23	30	44	60
73	71	78	68	63	55	47	39	33	27	19
12	10	22	31	42	49	67	75	77	70	65
58	45	11	9	13	69	15	50	17	21	28
35	29	36	43	37	63	57				
										÷ 8

商發見

÷ 7

÷ 8

( ) 曜 日 月		
範 題	頁數 (教科書)	

月 日 曜 ( )		
範 題	頁 數 (教科書)	

模 式 問 題

(1) 一萬の千四百八倍

(2) 7 3 6 0 9      4 1 5 7 2      を讀め

(3) 次の數を數字にて書け

三萬五千七百十四      八千萬三千二百

(4)

8410233	2307126	187 <sup>町</sup> 4 <sup>段</sup> 9 <sup>畝</sup>	10 <sup>石</sup> 8 <sup>斗</sup> 3 <sup>升</sup> 4 <sup>合</sup>
2090517	754108	2381 9 0	1 2 4 6
3927392	26041	4513 6 5	+ 2 2 8 3
6804505	2536	785 2 0	
+ 7382171	710	+ 785 2 0	
	+ 134500		

(5)

436125	100000	18 <sup>石</sup> 6 <sup>斗</sup> 2 <sup>升</sup> 5 <sup>合</sup>	100 <sup>圓</sup> 000 <sup>銭</sup>
- 125637	- 25368	- 7 6 8 7	- 73 654



1. 1937年11月1日  
 2. 1937年11月1日  
 3. 1937年11月1日  
 4. 1937年11月1日  
 5. 1937年11月1日  
 6. 1937年11月1日  
 7. 1937年11月1日  
 8. 1937年11月1日  
 9. 1937年11月1日  
 10. 1937年11月1日  
 11. 1937年11月1日  
 12. 1937年11月1日  
 13. 1937年11月1日  
 14. 1937年11月1日  
 15. 1937年11月1日  
 16. 1937年11月1日  
 17. 1937年11月1日  
 18. 1937年11月1日  
 19. 1937年11月1日  
 20. 1937年11月1日  
 21. 1937年11月1日  
 22. 1937年11月1日  
 23. 1937年11月1日  
 24. 1937年11月1日  
 25. 1937年11月1日  
 26. 1937年11月1日  
 27. 1937年11月1日  
 28. 1937年11月1日  
 29. 1937年11月1日  
 30. 1937年11月1日  
 31. 1937年11月1日  
 32. 1937年11月1日  
 33. 1937年11月1日  
 34. 1937年11月1日  
 35. 1937年11月1日  
 36. 1937年11月1日  
 37. 1937年11月1日  
 38. 1937年11月1日  
 39. 1937年11月1日  
 40. 1937年11月1日  
 41. 1937年11月1日  
 42. 1937年11月1日  
 43. 1937年11月1日  
 44. 1937年11月1日  
 45. 1937年11月1日  
 46. 1937年11月1日  
 47. 1937年11月1日  
 48. 1937年11月1日  
 49. 1937年11月1日  
 50. 1937年11月1日  
 51. 1937年11月1日  
 52. 1937年11月1日  
 53. 1937年11月1日  
 54. 1937年11月1日  
 55. 1937年11月1日  
 56. 1937年11月1日  
 57. 1937年11月1日  
 58. 1937年11月1日  
 59. 1937年11月1日  
 60. 1937年11月1日  
 61. 1937年11月1日  
 62. 1937年11月1日  
 63. 1937年11月1日  
 64. 1937年11月1日  
 65. 1937年11月1日  
 66. 1937年11月1日  
 67. 1937年11月1日  
 68. 1937年11月1日  
 69. 1937年11月1日  
 70. 1937年11月1日  
 71. 1937年11月1日  
 72. 1937年11月1日  
 73. 1937年11月1日  
 74. 1937年11月1日  
 75. 1937年11月1日  
 76. 1937年11月1日  
 77. 1937年11月1日  
 78. 1937年11月1日  
 79. 1937年11月1日  
 80. 1937年11月1日  
 81. 1937年11月1日  
 82. 1937年11月1日  
 83. 1937年11月1日  
 84. 1937年11月1日  
 85. 1937年11月1日  
 86. 1937年11月1日  
 87. 1937年11月1日  
 88. 1937年11月1日  
 89. 1937年11月1日  
 90. 1937年11月1日  
 91. 1937年11月1日  
 92. 1937年11月1日  
 93. 1937年11月1日  
 94. 1937年11月1日  
 95. 1937年11月1日  
 96. 1937年11月1日  
 97. 1937年11月1日  
 98. 1937年11月1日  
 99. 1937年11月1日  
 100. 1937年11月1日

實地問題構成欄


0123456789

實地問題構成欄

第五學年練習帳

0123456789

第五學年練習帳

0123456789

# 第五學年

加法九々(其二) 減法九々(其二)

$6+6=$	$6+5=$	$7+6=$	$8+7=$	$9+8=$
$7+7=$	$7+5=$	$8+6=$	$9+7=$	$7+4=$
$8+8=$	$8+5=$	$9+6=$	$8+4=$	$9+5=$
$9+9=$	$8+3=$	$9+4=$	$9+3=$	$9+2=$

$11-2=$	$11-9=$	$11-3=$	$11-8=$	$11-4=$
$11-7=$	$11-5=$	$11-6=$	$12-3=$	$12-9=$
$12-4=$	$12-8=$	$12-5=$	$12-7=$	$12-6=$
$13-4=$	$13-9=$	$13-5=$	$13-8=$	$13-6=$
$13-7=$	$14-5=$	$14-9=$	$14-6=$	$14-8=$
$14-7=$	$15-6=$	$15-9=$	$16-7=$	$15-8=$
$16-7=$	$16-9=$	$16-8=$	$17-8=$	$17-9=$
$18-9=$				

基數累加累減表

1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1.....100
2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	.....100
3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	.....102
4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	.....100
5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	.....100
6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	.....102
7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	.....105
8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	.....104
9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	.....108
10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	.....100

基數連加連減表 (其一)

0	7	2	9	4	1	6	3	8	5	4	5
3	7	2	9	4	1	6	3	8	5	4	8
1	7	2	9	4	1	6	3	8	5	4	6
5	7	2	9	4	1	6	3	8	5	5	0
9	7	2	9	4	1	6	3	8	5	5	4
4	7	2	9	4	1	6	3	8	5	4	9
7	7	2	9	4	1	6	3	8	5	5	2
2	7	2	9	4	1	6	3	8	5	4	7
6	7	2	9	4	1	6	3	8	5	5	1
8	7	2	9	4	1	6	3	8	5	5	3

基数連加連減表 (其二)

4	8	9	6	5	3	1	2	4	7	4	9
1	8	9	6	5	3	1	2	4	7	4	6
6	8	9	9	5	3	1	2	4	7	5	1
3	8	9	6	5	3	1	2	4	7	4	8
5	8	9	6	5	3	1	2	4	7	5	0
2	8	9	6	5	3	1	2	4	7	4	7
7	8	9	6	5	3	1	2	4	7	5	2
9	8	9	6	5	3	1	2	4	7	5	4
0	8	9	6	5	3	1	2	4	7	4	5
8	8	9	6	5	3	1	2	4	7	5	3

縦横ノ和二百六十

1	2	62	61	60	59	7	8
9	10	54	53	52	51	15	16
48	47	19	20	21	22	42	41
40	39	27	28	29	30	31	35
32	31	35	36	37	38	26	25
24	23	43	44	45	16	18	17
79	50	14	13	12	11	55	26
27	58	6	5	4	3	63	94



二位數ニ基數ヲカクルモノ

46.	35.	37.	48.	57.	65.	74.	76.	} ×2.3.4.5. 6.7.8.9.
68.	58.	39.	28.	26.	34.	44.	33.	
53.	64.	72.	83.	66.	56.	55.	32.	
13.	23.	14.	54.	12.	22.	31.	71.	
62.	51.	63.	73.	21.	86.	89.	87.	
96.	84.	94.	85.	92.	79.	78.	82.	
42.	47.	45.	27.	19.	25.	24.	38.	
36.	77.	29.	69.	18.	59.	17.	49.	
15.	43.	16.	52.	41.	67.	88.	61.	
97.	81.	93.	95.	75.	91.	99.		

商發見

7	50	28	41	10	21	59	49	25	56	47	27	} ÷ 6
20	13	39	53	57	38	35	34	32	52	37		
31	43	46	29	40	9	15	45	58	16	33		
11	22	55	19	26	71	14	51	44	23	8		

15	41	34	35	19	22	89	17	21	42	28	} ÷ 9
26	86	14	44	62	31	32	82	83	59	30	
87	40	37	12	79	84	67	43	39	25	85	
64	24	47	47	49	33	58	80	23	51	50	
46	38	68	16	53	48	60	55	65	52	57	
70	71	61	20	69	66	74	75	83	11	10	
73	76	56	88	29	13	78	77				

商 發 見

20	38	49	53	59	9	62	55	48	41	33
26	19	12	10	18	25	32	39	45	54	60
58	66	69	67	52	51	44	47	40	37	31
23	17	11	24	30	43	50	57	65	64	61
36	34	29	8	15	68	16	13	27	22	

} ÷ 7

76	14	20	26	34	38	46	53	59	51	66
74	79	61	54	41	25	18	23	30	44	60
73	71	78	68	63	55	47	39	33	27	19
12	10	22	31	42	49	67	75	77	70	65
58	45	11	9	13	69	15	50	17	21	28
35	29	36	43	37	63	57				

} ÷ 8

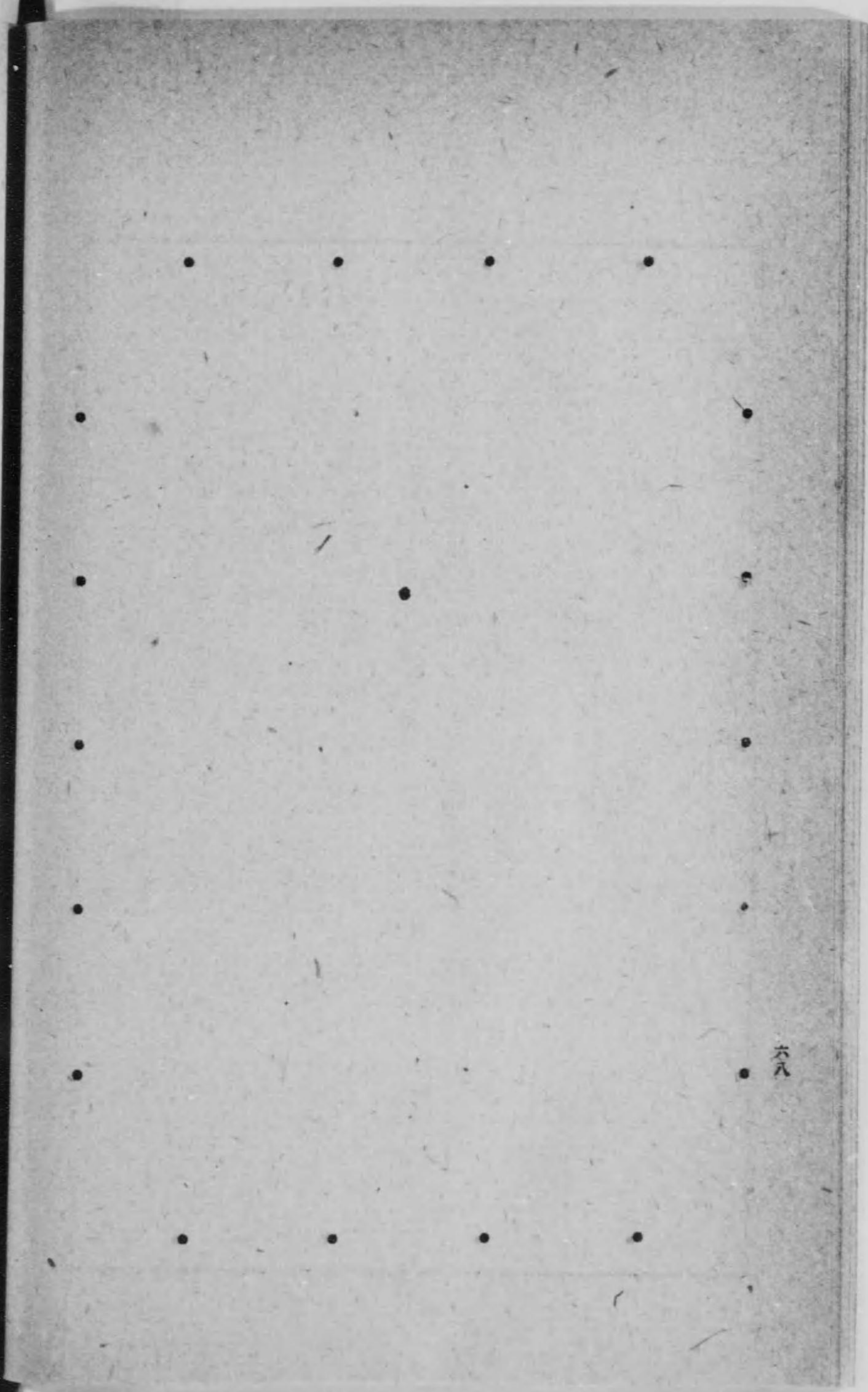
模 式 問 題

- (1) 2里12町40間3尺を尺數に直せ  
12里25町45間を間數に直せ
- (2) 1080間 38990尺 (諸等數に直せ)
- (3) 20町16間を里の單名數に直せ  
19町4尺を里の單名數に直せ
- (4) 1哩は約14町45間なりさ之を里の小數に直せ
- (5) 4.06里 8.15里 (諸等數に直せ)
- (6) 1海里は 16.675町なりさ之れは何町何間何尺なるか
- (7)

里	町	間	尺	里	町	間	尺
2	5	15	17	1	16	17	2
+	7	2	3	-	32	18	5

1) 1911年 1月 1日 32115  
 2) 1911年 1月 2日 32116  
 3) 1911年 1月 3日 32117  
 4) 1911年 1月 4日 32118  
 5) 1911年 1月 5日 32119  
 6) 1911年 1月 6日 32120  
 7) 1911年 1月 7日 32121  
 8) 1911年 1月 8日 32122  
 9) 1911年 1月 9日 32123  
 10) 1911年 1月 10日 32124  
 11) 1911年 1月 11日 32125  
 12) 1911年 1月 12日 32126  
 13) 1911年 1月 13日 32127  
 14) 1911年 1月 14日 32128  
 15) 1911年 1月 15日 32129  
 16) 1911年 1月 16日 32130  
 17) 1911年 1月 17日 32131  
 18) 1911年 1月 18日 32132  
 19) 1911年 1月 19日 32133  
 20) 1911年 1月 20日 32134  
 21) 1911年 1月 21日 32135  
 22) 1911年 1月 22日 32136  
 23) 1911年 1月 23日 32137  
 24) 1911年 1月 24日 32138  
 25) 1911年 1月 25日 32139  
 26) 1911年 1月 26日 32140  
 27) 1911年 1月 27日 32141  
 28) 1911年 1月 28日 32142  
 29) 1911年 1月 29日 32143  
 30) 1911年 1月 30日 32144  
 31) 1911年 1月 31日 32145

月 日 曜 ( )	
範 題	
頁 數 (教科書)	



實地問題構成欄


月 日 曜 ( )

範  
題

頁  
數 (教科書)


0123456789

實地問題構成欄

第六學年練習帳

0123456789

第六學年練習帳

0123456789



## 第六學年

	加法九九	(其二)	減法九九	(其二)
6+6=	6+5=	7+6=	8+7=	9+8=
7+7=	7+5=	8+6=	9+7=	7+4=
8+8=	8+5=	9+6=	8+4=	9+5=
9+9=	8+3=	9+4=	9+3=	9+2=

11-2=	11-9=	11-3=	11-8=	11-4=
11-7=	11-5=	11-6=	12-3=	12-9=
12-4=	12-8=	12-5=	12-7=	12-6=
13-4=	13-9=	13-5=	13-8=	13-6=
13-7=	14-5=	14-9=	14-6=	14-8=
14-7=	15-6=	15-9=	15-7=	15-8=
16-7=	16-9=	16-8=	17-8=	17-9=
18-9=				



基数連加連減表 (其二)

4	8	9	6	5	3	1	2	4	7	4	9
1	8	9	6	5	3	1	2	4	7	4	6
6	8	9	6	5	3	1	2	4	7	7	5
3	8	9	6	5	3	1	2	4	7	7	8
5	8	9	6	5	3	1	2	4	7	7	0
2	8	9	6	5	3	1	2	4	7	7	2
7	8	9	6	5	3	1	2	4	7	7	7
9	8	9	6	5	3	1	2	4	7	7	5
0	8	9	6	5	3	1	2	4	7	7	4
8	8	9	6	5	3	1	2	4	7	7	5

縦横ノ和二百六十

1	2	62	61	60	59	7	8
9	10	54	53	52	51	15	16
48	47	19	20	21	22	42	41
40	39	27	28	29	30	34	33
32	31	35	36	37	38	26	25
24	23	43	41	45	46	18	17
79	50	14	13	12	11	56	26
27	58	6	5	4	3	63	94

二位數ニ基数ヲカクルモノ

46.	35.	37.	48.	57.	65.	74.	76.
68.	58.	39.	28.	26.	34.	44.	33.
53.	64.	72.	83.	66.	56.	55.	32.
13.	23.	14.	54.	12.	22.	31.	71.
62.	51.	63.	73.	21.	86.	89.	87.
96.	84.	94.	85.	92.	79.	78.	82.
42.	47.	45.	27.	19.	25.	24.	38.
36.	77.	29.	69.	18.	59.	17.	49.
15.	43.	16.	52.	41.	67.	88.	61.
97.	81.	93.	95.	75.	91.	99.	

× 2.3.4.5.  
6.7.8.9.

商發見

7	50	28	41	10	21	59	49	25	56	47	27
20	13	39	53	57	38	35	34	32	52	37	
31	43	46	29	40	9	15	45	58	16	33	
11	22	56	19	26	71	14	51	44	23	8	+ 6

15	41	34	35	19	22	89	17	21	42	28
26	86	14	44	62	31	32	82	84	59	30
87	40	37	12	79	84	67	43	39	25	85
64	24	47	47	49	33	58	80	23	51	50
46	38	68	16	53	48	60	55	65	52	57
70	71	61	20	69	66	74	75	83	11	10
73	76	56	88	29	13	78	77			

+ 9

20	38	49	53	59	9	62	55	48	41	33	} + 7	
26	19	12	10	18	25	32	39	45	54	60		
58	66	69	67	52	51	44	47	40	37	31		
23	17	11	24	30	43	50	57	65	64	61		
36	34	29	8	15	68	16	13	27	22			
76	14	20	26	34	38	46	53	59	51	66		} + 8
74	79	61	54	41	25	18	23	30	44	60		
73	71	78	68	63	55	47	39	33	27	19		
12	10	22	31	42	49	67	75	77	70	65		
58	45	11	9	13	69	15	50	17	21	28		
35	29	36	43	37	63	57						

商 發 見

月 日 曜 ( )		範 題	頁 數 (教科書)

月 日 曜 ( )		
範 題	頁 數 (教科書)	

模 式 問 題

- (1) 次の各組に就きて第一數は第二數に比べて幾倍に當るか  
(8. 4) (3. 7)
- (2) 次の各組の數に付て比の値を定めよ  
(3圓 9圓) (15石 8石)
- (3) 次の比の値を計算せよ  
 $725 : 450$        $\frac{1}{6} : 1\frac{2}{3}$
- (4) 大工あり十日間働きて賃錢八圓五拾錢を得たりと此の割にて13日働けば賃錢何程を得るか
- (5) 3週間に17町の道路を修繕する人足が1里15町の道路を修繕するには幾日を要するか

1919年11月

2. 3月11日(11日)の朝日新聞に掲載された「大正9年11月19日の日露戦争」の新聞記事

(4) 大正9年11月19日の朝日新聞に掲載された「大正9年11月19日の日露戦争」の新聞記事

(3) 大正9年11月19日の朝日新聞に掲載された「大正9年11月19日の日露戦争」の新聞記事

(2) 大正9年11月19日の朝日新聞に掲載された「大正9年11月19日の日露戦争」の新聞記事

(1) 大正9年11月19日の朝日新聞に掲載された「大正9年11月19日の日露戦争」の新聞記事

大正9年11月19日

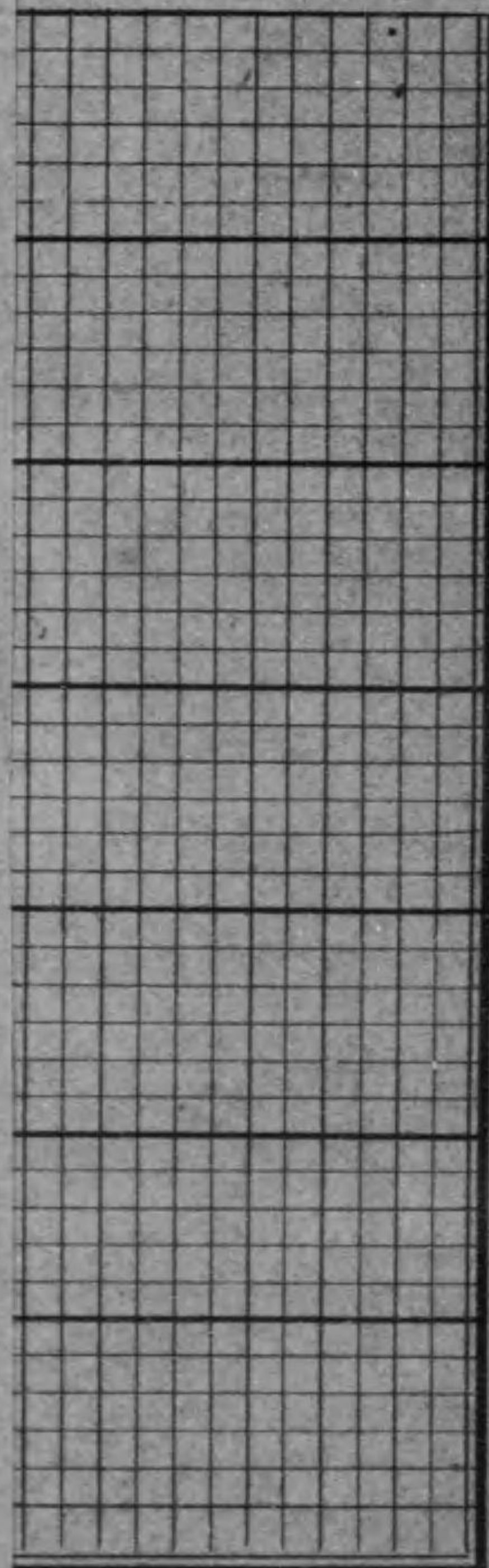
實地問題構成欄




0123456789

實地問題構成欄

0123456789



算術科成績表第 學年

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50											
一分																																																													
二分																																																													
三分																																																													
四分																																																													
五分																																																													
六分																																																													
七分																																																													
八分																																																													
九分																																																													
十分																																																													

012345678

大正七年三月二十五日印刷  
大正七年四月一日發行



著者 福田三吉

發行者 名古屋西區本町二丁目八十五番戶 松岡利助

印刷者 名古屋東區針屋町三十一番戶 小池清

印刷所 名古屋東區針屋町三十一番戶 三益社

發行所 名古屋西區本町二丁目 電話二四二二番 振替大阪五二八〇番 松岡明文堂

大賣捌所 東京市京橋區元數寄屋町三丁目 電話新橋一四三九番 振替東京七五〇番 北隆館書店

工十59-28.

大正  
五年

不  
好

三  
月  
廿  
四  
日  
文

終

